

かすがい



市議会 だより

令和3年 第5回定例会(11月30日~12月16日)

第 117 号
2022年(令和4年)2月

もくじ

議案の概要……………2
一般質問……………4

表紙写真募集中 詳しくは8ページへ

市民の誓い

- 一、みんなで緑を育て 自然を守ろう
- 一、すすんでからだをきたえ いのちを大切にしよう
- 一、お互いに時間とルールを守ろう
- 一、こころにゆとりをもち 清らかな文化をきずこう
- 一、勤労をとうとび 豊かなくらしをめざそう



一般質問

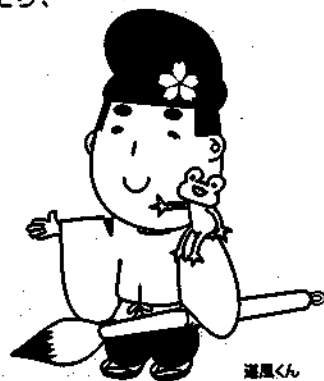
今回の定例会では、14人の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、28項目の質問を行いました。

市政全般にわたる問題について質問します

一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。

各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)



蓮風くん

コロナ禍で影響を受けている事業者への支援について

1

質問者 金沢 はるき

質問 本市ではコロナ禍の影響を受けた事業者に対する支援として、春日井商工会議所によるプレミアム付クーポン券の発行支援や、感染症対策支援金、雇用安定支援事業等、多くの施策を実行されました。コロナ禍による影響が今後も長期化すると思われますが、これまでの事業者支援の実績と現状、また事業者の皆様の声をどのように把握されているのか伺います。

担当 企業活動支援課・経済振興課

〔答弁〕実績は11月末現在で環境整備支援事業が205件、3140万5千円交付予定、雇用安定支援事業が令和2年度1173件、2億9999万円、令和3年度1369件、1億9349万9千円交付、プレミアム付クーポン券が令和2年度5億円弱、令和3年度約4億円販売です。事業者からは「新たな挑戦のきっかけとなった」「感染防止に助かる」「資金的に助かる」などの声があり、雇用安定支援事業は商工会議所からも継続を強く求められています。



松河戸地区における公共下水道事業について

2

質問者 はせ かずや

質問 ①春日井市公共下水道事業経営戦略では、令和19年度までに高蔵寺浄化センターを廃止し、南部浄化センターに統合するという方向性が示された。南部浄化センターの規模は、当初計画と比べどのようになるのか。また、地元への説明はどのように行っていくのか問う。②近年、大雨による自然災害が激甚化している中、雨水浸水対策の具体的な方針について問う。

担当 上下水道経営課

〔答弁〕①統合後の南部浄化センターの規模は、節水機器の普及などにより一人一日あたりの生活排水量が減少していることから、当初計画以下になる見込みです。また、今年度から地元との調整を図り、理解を得られるよう丁寧な説明を行っていきます。②南部浄化センターに隣接する調整池は、素掘りで整備した暫定型であるため、貯留量拡大について、国の動向を踏まえ、調査研究を進めていきます。



朝宮公園の利用について

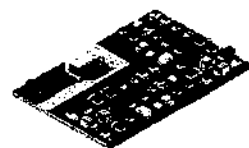
3

質問者 かじた 正直

質問 朝宮公園の駐車場台数は現時点において既に不足しており、将来的に全く足りない事が予測される。市民から駐車場台数増設の要望が出ていくのが今後どのように対応していくのか市の考えを問う。また常習的に無断駐車をしている者が公園利用者の妨げをしている現状もあり駐車場を有料化することによって公園利用者の為の駐車場とすることはあるのか問う。

担当 スポーツ課

〔答弁〕朝宮公園での大会開催時等において駐車場の不足が想定される場合、近隣の前高グラウンド等を臨時駐車場とする対応を考えています。また、周辺への迷惑駐車等で近隣に大きな影響が生じた場合、多目的広場を臨時的に駐車場とすることも考えています。駐車場有料化については、現状の駐車場利用で大きな混乱が生じていないため実施は考えていませんが、今後の駐車場の利用状況を把握する中で調査研究していきます。



8

公共サービスの見える化・キャッシュレス化・デジタル化の推進について

質問者 小原 はじめ

質問 デジタル化の技術が日々進歩するなか、色々な取組みが先進自治体で取り組まれている。そこで、①市民病院を受診する際の順番待ち案内・予約状況の確認・事前登録することによる会計後払いの導入について②市民課等の市役所の窓口や高額の治療金支払いが多い総合保健医療センターなど、現在現金で支払っている窓口でのキャッシュレス化についてそれぞれ問う。

担当 医事課・デジタル推進課

【答弁】①専用のアプリを入れた患者さんのスマートフォンで、次回の予約確認・順番待ち案内・後払いの会計ができるシステムを、来年度の電子カルテシステムの更新に合わせて、導入する準備を進めています。②キャッシュレス化については、今年度を実施した調査結果に基づき、件数が多い窓口や料金が高額な窓口などで積極的に導入を検討します。



9

児童館について

質問者 伊藤 建治

質問 児童館はすべての子どもたちの居場所。特に学校に行きづらいう子が勇気をもって外に出た時に気軽にに行ける場所、いじめ、進路、家庭、友達関係などに悩みを相談できる場として、常に子どもたちの視界に入っていて欲しい。児童館を知らない子どもも多い。ホームページ、子ども広報、ポスターなどで、「児童館があるよ、しんどかったらおいでよ」と呼びかけて欲しい。

担当 子ども政策課

【答弁】児童館がすべての子どもたちの居場所であることが伝わるように、子どもと目線でも分かりやすい、優しい表現を用いながら、市ホームページを始め、子ども広報、情報紙、ポスターなど多様な媒体を通じて、居場所を必要とする子どもたちに直接届くよう、より効果的な情報発信に取り組みます。



【その他の質問事項】
・リニア中央新幹線工事について盛土や埋め立ての調査について
・田成駅の陥没について
・LGBTなど性的少数者も生きやすい社会

10

中学校での服装に関する規定について

質問者 原田 祐治

質問 市立中学校では制服、靴その他多くの指定品があり、指定品以外にも身に着けるものについてのルールがある。服装は基本的人権の一部。ルールで縛り付けるべきではないし、費用負担も重たくなっている。①指定品を使用しなければならぬ理由と、使用を任意とする考えについて②指定品以外の規定の状況と、これらの規定をなくす考えについて、それぞれ問う。

担当 学校教育課

【答弁】①制服や靴など学校指定品の統一は、様々な家庭環境で生活する多様な時期の生徒が、落ち着いた学校生活を送れるようになることと判断し指定しています。すぐに自由化する考えはありませんが、生徒や保護者の意見、社会の変化などを踏まえ見直しを検討していきます。②華美な色の用品を身につけることによる他生徒への影響を考慮し、靴、ベルト、髪ゴム、防曇具等、色の目安を指定しています。今後は①と同様に検討していきます。



【その他の質問事項】
・低所得者の住み替え補助について
・介護保険の「補正給付」について
・フードバンク、子ども食堂などを実施する団体への支援について

11

生活保護のネガティブイメージについて

質問者 石田 裕信

質問 生活保護の持つネガティブなイメージから、生活に困窮していても、保護を受ける事を躊躇する方がいます。イメージの改善が必要です。①市の生活保護のホームページは簡素で表現や内容が不親切です。生活保護を申請したい人に分かりやすく見て安心できるページに変更してはどうか問う。②生活保護のイメージ改善につながるポスターを作成してはどうか問う。

担当 生活支援課

【答弁】①生活保護に必要な支援は、内容が一人ひとり異なるため、窓口等の相談の中で事情を伺い、手続き等を説明しています。そのため、ホームページでは保護の概要を示し、必要に応じ相談いただくよう案内しています。今後も、支援の必要な方が相談機会を失うことがないよう、分かりやすい情報発信に努めていきます。②現時点ではポスターの作成は考えていませんが、より相談しやすい体制や手法について調査研究していきます。



【その他の質問事項】
・インフルエンザ予防接種への助成について
・灯油購入費等の助成について

かすがい



市議会
だより

令和4年 第1回臨時会(1月14日)

第2回定例会(2月17日~3月15日)

第 118号
2022年(令和4年)5月

もくじ

議案の概要	2
代表質問	4
一般質問	8



「アゲハ蝶の乱舞」

岩船神社近くの川沿いにある花畑で、百日草に数頭のアゲハ蝶が、花の蜜を吸っている1頭のメスをめぐり、オスたちが舞っている所です。

撮影者:熊澤 晴夫 撮影場所:廻間町

一般質問

今回の定例会では、15人の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、28項目の一般質問を行いました。

市政全般にわたる問題について質問します

一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずため行うものです。

各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)



海風くん

1 北部オンデマンドバスについて

質問者 市民クラブ まえだ 学

【質問】本市では、北部オンデマンドバスが導入され6ヶ月が経過しました。地域の方々に好評を得ている北部オンデマンドバスの現状の延べ乗客数、1日平均の乗客数、経費と旧北部線の乗客数、現在のシティバスの路線の経費、沿線住民よりどのような声が届いているか問う。また今後の乗降ポイントの新設と運行車両を増やす考えがあるか問う。

担当 都市政策課

【答弁】半年間の総乗客数は3,604名、一日平均は約30名、経費は一日約6万7千円です。旧北部線の同区間の一日平均は約31名、経費は旧北部線とほぼ同距離の新南部線が一日約7万8千円です。住民から「バス停が近くなった」「乗降ポイントを追加してほしい」「電話で予約が取りにくい」との声がありますが、少ない相乗り利用を増やすことで、現車両により利便性を損なわない程度に、利用者増の検討を進めます。



2 今後の町内会・自治会等のあり方について

質問者 無会派 はせ かずや

【質問】共助の要である組織の持続可能な運営のために、財政面の課題として町内会助成金の見直しや防犯灯電気料全額補助、業務的な課題として提出書類の簡素化や計画的なICT化推進への移行等が議論・要望されてきた。これらの負担軽減策は、役員の高齢化・後継者不足・加入率低下・地域による格差是正のためにも急務な課題と考えるが、市の取組みとを考えを問う。

担当 市民活動推進課

【答弁】町内会の負担軽減については、手引書やQ&A集といった冊子による情報提供のほか、広報春日井を月1回の発行としたことも、負担軽減につながっているものと考えています。また、4年度は、町内会役員経験者などで構成する検討会議を設置し、各種補助制度や加入促進策、負担軽減につながる支援策について検討するとともに、負担軽減につながる手法を学ぶICT活用講座を実施します。



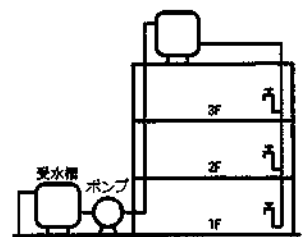
3 避難所・受水槽の災害用給水栓設置について

質問者 自由クラブ 奥村 昇次

【質問】大震災時に必要となる飲料水を賄う為、避難所の小学校で更新する受水槽は災害用給水栓付に標準化すること、現行受水槽に災害用給水栓を追加することを検討して欲しい。停電時ポンプ停止で受水槽から給水できない場合、災害用給水栓で受水槽の水を活用できれば、500mlのペットボトル2万本分が給水できます。

担当 上下水道経営課

【答弁】小学校の現行受水槽については、災害時に応急給水を行う上で有効な手段となることから、老朽度や耐震性を踏まえ、災害用給水栓が取り付けられるように、市内37校の内、20校で改修を終え、災害用給水栓の使用が可能となっています。改修を終えていない小学校については、小学校のリニューアル工事や受水槽の更新に合わせ、順次、災害用給水栓を設置していきます。



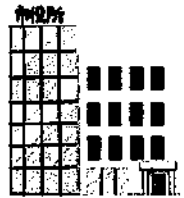
8 市民に伝わる文書作成について

質問者 市民クラブ 小原 はじめ

【質問】市から発信される文書には、慣例的な言葉の言い回しや難解な専門用語など通称「お役所言葉」が見受けられる。相手や内容に応じた多様な媒体と表現を使用し、伝えたい事が市民に伝わっているかを検証し「従来どおりの文書表現でよいのか」などを意識した文書作成が重要になる。読みやすく、わかりやすい文書作成に向けた本市の取組みと今後の考えを問う。

担当 総務課

【答弁】本市では、「文書事務の手引」において、「専門用語や難しい表現を避けること」等、職員が文書を作成する際に留意すべき基本的事項を示し、さらに、手引の内容に関する研修を毎年実施しています。今後は、近年増加しているカタカナ語などの新しい用語をわかりやすく言い換えるための用語集をまとめ、文書作成の際に活用することにより、読み手にとって「やさしい」文書の作成に取り組んでいきます。



【その他の質問事項】

■働き方・仕事の進め方改革について

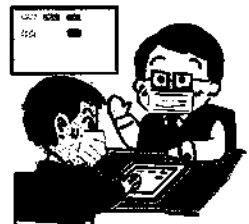
9 デジタル化による窓口業務の効率化について

質問者 公明党 佐々木 けいすけ

【質問】本市でのデジタル化による市民サービスの向上や行政運営の効率化の観点から、①市民課窓口業務での各種証明書等の受付から発行終了するまでの待ち時間、年間の受付件数、職員数の現状について、②他部署での窓口業務の取組について、③デジタル活用と働き方による市民サービスの向上への取組について問う。

担当 市民課・デジタル推進課

【答弁】①待ち時間は、通常5分から10分程度、令和2年度の受付件数は240,937件、職員数は通常期20人程度、繁忙期25人程度です。②他部署では、住民情報等を申請書に印字し記入の負担を軽減するほか、端末を利用した手話通訳を導入しています。③書かない窓口は業務の流れの整理、改善の中で必要に応じ検討し、待たない窓口は手続きのデジタル化やコンビ二交付の利用拡大で混雑解消等を目指します。行かない窓口はオンライン申請の利用拡大に取り組めます。



10 「こころの病気」への理解を進めることについて

質問者 公明党 田中 千幸

【質問】こころの病気で、通院・入院をしている人は国内で400万人超。本市に於いても増加し40から64歳の働き盛り世代が最も多い。病に対する根強い誤解や偏見を無くし、理解を促進することについて、市の考え方と取組の現状を問う。又、当事者の周囲の人が的確な対応ができるよう、実践的なOJT型の方法を含むわかりやすい講習会を開催できないかを問う。

担当 健康増進課・障がい福祉課

【答弁】こころの病気は、家族や知人だけでなく、社会全体が病気の特徴を知り、寄り添いながら支援していく大切さを理解することが重要です。市では、パネル展示や広報、ホームページ、SNSなど様々な機会を通して情報の発信に努めています。また、メンタルヘルスに関する健康講座やこころの体温計周知カードの配布、ゲートキーパー養成講座を実施しています。今後は、啓発講演会などでOJT型の方法の活用を検討します。



11 公共下水道事業について

質問者 共産党 伊藤 建治

【質問】①高蔵寺浄化センターは廃止、新接続管(102億円)で高蔵寺の水を南部浄化センターに運び、勝西と南部の2場体制とする計画。南部と高蔵寺の2場の方が効率的ではないか。②河川も名古屋港も汚れておらず汚水処理人口普及率も95%になる見込み。市債の1/3(463億円)が下水道企業債。今後の整備に800億円。市民にも重い負担がある。今後の整備は立ち止まるべき。

担当 上下水道経営課

【答弁】①南部と高蔵寺の2場体制とした場合、将来、南部浄化センターを敷地内で更新することができないことから、接続管としての圧送管などを整備する必要があるため、施設整備費や維持管理費が増加するなど、コスト削減には繋がらないと考えています。②名古屋港は水質改善が進んでいますが、伊勢湾は、まだ改善途中であるため、引き続き下水道整備を進めていく必要があると考えています。



【その他の質問事項】

■あい農パークについて ■学校へ行けない子どもたちへの支援について
■進学への支援の取組みについて ■病後児保育について